

令和 2 年度 県立石岡商業高等学校自己評価表

目指す 学校像	生徒の人格を重んじ、地域社会の要請に応えながら激しく変化する社会に柔軟に対応できる力を育むと共に、社会に有為な調和のとれた人間の育成に努める。					
昨年度の成果と課題		重 点 項 目		重 点 目 標	達成状況	
指導法の工夫、IT活用など、授業改善に取り組み、成果は見られつつある。課題研究の授業で商品開発した「えごまアイス」がフードグランプリで全国一に輝くなど、実践的な授業の充実が見られた。資格取得では、全商検定1級6種目以上合格や全商商業経済5種目合格など健闘した。生徒個々の上位資格取得率の更なる向上が望まれる。 進路面では、令和元年度の内的状況は、進学・就職ともに100%近くという結果であった。また、インターンシップ、各種ガイダンス、面談等のキャリア学習や、商業科の特長を活かした、大学進学や金融機関、公務員への就職で実績を残すことができた。今後はより進路意識の高揚を目指す。 生徒指導では、服装・頭髮・登校指導を定例で行い、基本的生活習慣の確立に努めた。遅刻や問題行動は減少傾向だが、SNSを通したトラブルの増加がみられる。SNSのルールの徹底と人間関係構築能力の育成が必要である。 部活動では弓道部が関東大会出場及び県大会入賞と活躍し、コンピュータ部、簿記・珠算部も県大会で上位入賞するなど、各部ともに種々の大会において善戦した。部活動加入率も若干向上した。文化祭など学校行事に対して熱心に取り組む姿が見られ、地域交流活動も充実した。生徒個々の活躍の場を創出し、さらなる特別活動の充実に向けた取り組みが必要である。 今後は、教職員の共通理解の下、進路実現に向けた基礎学力の向上と規範意識の高揚を図る。生徒の自己充実感を高められるよう、特別活動の充実を目指しつつ、地域から信頼される元気で明るい学校づくりに努めたい。それらの基本となる安全で安心な教育環境作りのために、感染症対策はじめ保健衛生の取組の充実と、教職員の働き方改革を進めることが不可欠である。		1 授業の工夫・改善を図り、主体的に学習に取り組む態度と確かな学力を育む	①指導方法の工夫・改善を図り、基礎学力の向上を図る。 ②資格取得を通して実践的な学力を養成し、希望進路を実現する。 ③「主体的・対話的で深い学び」のための指導の工夫・改善を行い、確かな学力を育む。		B	
		2 規範意識を醸成し、基本的生活習慣を確立する	①様々な活動を通して、規範意識・社会性・思いやりの心を育てる。 ②面談や教育相談を活用し、生徒理解を深め、信頼関係を醸成する。		A	
		3 組織的・系統的なキャリア教育を推進する	①体系的なキャリア教育を推進し、進路意識の涵養と目標実現のための実践力を養う。 ②実習や体験的学習を通して、思いやりや社会性・人間関係構築能力を養う。		B	
		4 特別活動の充実を図り、豊かな心を育む	①特別活動を通して、心の居場所となる学級・学校づくりを推進する。 ②生徒会、部活動、ボランティア活動を活性化し、リーダーとなる人材を育成する。		B	
		5 地域や保護者から信頼される学校づくりを推進する	①中学校や地域との連携・交流活動を推進し、相互理解と協力関係の醸成に努める。 ②学校通信、ホームページや学校公開などを通して、積極的に情報を発信する。		B	
		6 安全で安心な教育環境作りを推進する	①学校をあげて感染症対策はじめ保健衛生管理に努め、安全安心な環境作りを図る。 ②業務の精選、役割の見直し、意識高揚等により働き方改革を進める。		A	
評価項目	具 体 的 目 標		具 体 的 方 策		評価	次年度への主な課題
教科指導	基礎学力の向上を図る。	ICT教材の活用など計画的に課題等を与えることで、基礎・基本の徹底を図る。1－①		A	A	・「主体的・対話的で深い学び」の指導力向上に努め、生徒の思考・判断・表現力を高める授業実践に務める。 ・上級資格の取得に向けてさらに努力していきたい。
	生徒の自主的学習意欲を喚起するとともに、商業検定試験の合格率向上を図る。	生徒の実態に応じた指導法の工夫・改善に努め、「参加する授業」を心がける。1－①		B		
	上級資格取得への意識の向上を図る。	各種検定試験にあわせて、課外等を計画的に実施し、すべての検定において前年度合格者数を超えるよう指導する。1－②		A		
		生徒が希望する進路実現のための方策として、各種上級資格取得の援助を行っていく。1－②		A		
特別活動	部活動の活性化と生徒会活動の充実を図る。	部活動の加入率を上げるとともに、生徒会活動を活性化する。4－②		B	B	・感染予防を徹底したうえで、工夫して実施できる行事等はないか、早くから検討に入る必要がある。
	感染症予防に配慮して、文化的・体育的学校行事の充実を図る。	感染症予防の工夫や配慮をしつつ、文化祭・クラスマッチ等を実施し、感性を育て、クラスの連帯意識を培う。4－①6－②		B		
	キャリアパスポートの充実を図る。	定期的に自己の生き方や進路に対する見直しと振り返りを行うことで、新たな学習や生活への意欲につなげる。3－②		B		
	生徒の自発的活動の促進を図る。	生徒会活動及びホームルーム運営等で、生徒の自発的活動の促進を図り、適切な指導、援助を行う。4－①		B		
生徒指導部	基本的生活習慣の確立 1. 頭髮・服装 2. 遅刻 3. 礼儀	学校生活の場面で、我慢すること、辛抱する気持ちを養成していく。2－② 生徒の人格、立場を認めた上で、粘り強く指導する。2－② 生徒本人⇄学校⇄保護者間の連絡を密にし、家庭の襲で協力頂く。2－② 各カードを用意し、段階を追っての指導で自覚を促していく。2－② 登校指導表・頭髮チェック表・異装願い・遅刻調査を行い段階的に指導する。2－② 体罰に頼らない指導を心がける。1－① 咳エチケット、外出自粛などの指導をとおして、感染症予防に努める。6－①②		B A A A A B B	B	・アルバイトは、保護者面談後の届け出制となっているが、時間・期間をきちんと守らせる。 ・月の登下校指導の場所の変更。 ・毎日の登下校指導の継続。 ・学年間で温度差が出ないよう連携。
	交通安全の徹底指導	H Rや集会、講演会などで年間を通して指導していく。2－①		B		
	1. 原付バイク	年間指導計画を立てる。2－①		A		
	2. 自動二輪車	定期的な見回りや、地域との密接な連絡を図っていく。5－①		B		
	3. 普通乗用車	3年生第4回定期テスト終了後より自動車教習所を訪問し、情報交換を重ねる。5－①		B		
	非行の未然防止	日頃から生徒をよく観察し、非行の兆しに敏感になっておく。2－②		A		
	1. 喫煙	喫煙、飲酒等発覚の場合は、保護者と連絡を取り生活習慣の改善を促していく。講演会も実施していく。2－②		A		
	2. 飲酒					
	3. 無届アルバイト	手続きをするように指導する。(原則アルバイト禁止) 2－②		A		
	4. 無断外泊					
	※クラスマッチ・石岡祭礼	生徒本人 ⇄ 学校 ⇄ 保護者間の連絡を密にし、保護者を交えての指導を行う。2－②		A		
	教育相談					
	1. 不登校	早期の発見を心がけ、面接、家庭訪問、SCや県教育研修センター、外部医療機関と連携し対応に当たる。2－②		A		
	2. 指導拒否					
3. 長期欠席						
4. いじめ	担任が一人で問題を抱え込むのではなく、学年、生徒指導部等、チームでの対応とし、段階的に指導していく。2－①		A			

進路指導部	進路について理解を深めさせ、能力・適性に合った進路を決定させる。	進路講話、ガイダンス等の開催、また進路情報の提供等を通して進路に対する考え方や態度を早期から養うとともに、関係機関との連携を強化し、社会情勢の変化による進路決定への影響を最小限に抑える。３－① ６－①	A	B	・社会の状況に応じた進路行事の計画。 ・基礎学力向上のための取り組み。
	進学に対する啓発を図り、上級学校への進学を決定させる。	進学希望者に対して、基礎学力の向上を図るとともに志望校に応じた指導を行い、合格に結びつける。また資格を生かした進学についての情報提供に努める。１－②	B		
	労働の意義や目的を理解させ、正しい職業観・勤労観を確立させる。	就職希望者に対して、基礎学力や資格取得等の能力向上を図るとともに積極的に職場見学等の就職活動を行うよう指導し、就職内定に結びつける。また面接指導の充実を図る。１－②	B		
教 務	授業時間を確保する。	行事の実施日が特定曜日に偏らないように年間計画を立てる。１－①	A	B	・統合型校務支援システムの活用研修の実施およびＩＣＴの活用・研修の充実。 ・各教科各学年のグランドデザインの作成、各教科の年間指導計画の作成。 ・令和４年度からの新教育課程における観点別評価の作成。
		出張、年休時の授業交換を確実にし、授業時間の確保に努める。１－①	A		
		休校等による授業時間の補填に努めるよう各教科に働きかける。６－①②	C		
	行事の円滑な運営に努める。	事前の準備や他の校務分掌部との調整を早めに行う。１－①	A		
		行事実施後、課題や問題点を確認し、次の運営に備える。１－①	A		
	充実した教育課程を編成する。	基礎科目に重点を置き、生徒の希望に対応できる教育課程の編成に努める。１－①	B		
		選択科目説明会を実施することで、生徒の希望に合った科目選択をサポートする。３－①	A		
保健厚生	心身ともに健康でたくましく生きることができる人間の育成をめざし、健康の保持増進に努める。	本校教育活動の紹介を、ホームページや広報紙等を利用して情報の提供に努める。５－①②	B	B	・各学年と連携を図り、生徒の健康増進と管理に努める。また、教育相談を有効的に実施するよう努める。 ・全校生徒、全職員の防災意識の涵養に努める。 ・感染症対策と環境整備に努める。清掃用具の保管点検実施
		保護者、学校評議員、近隣中学校、地域の方々の声を真摯に受け止め、学校運営に生かす。５－①②	A		
		感染症や休校等の緊急時における家庭への連絡を、ホームページや緊急情報メール等で迅速に対応する。６－①②	A		
	学年・担任との連携を図り、健康に問題のある生徒の指導と管理に努める。	心身の健康状態の把握に努め、生徒が自主的に自分の健康を保持増進できるよう適切な指導・援助を行う。２－①	B		
		学年との連携を図り、積極的に健康相談を実施する。２－②	B		
		教育相談をカウンセラーと協力しながら充実させる。２－②	A		
	地域と連携した、防火防災に対する心構えを身につける。	早い時期に避難経路を理解させる。地域と連携した実践が出来るようにする。５－②	A		
図 書 館	授業等での利用拡大を図る。 図書委員会活動の活性化に努める。 図書館利用の振興と図書館行事の充実に努める。 視聴覚機材と教材の充実を努める。	朝の検温やアルコール消毒など、登校時の保健体制の取り組みを継続させる。６－①②	B	B	・感染症対策を行いながら、図書委員の活動及び、図書館・視聴覚室（音楽室）の活用を充実させる。
		全学年にマスクの着用、手洗いうがいを励行させる。６－①	B		
		各教科から生徒に薦める図書をあげてもらう。１－①	B		
		感染症予防に配慮しつつ図書委員会を適宜に開催する。４－② ６－①②	A		
渉 外	ＰＴＡ、後援会、同窓会との連絡を密にする。 ＰＴＡ活動の活性化を図る。	新着図書を「図書館だより」等で広報する。１－①	A	B	・各種行事について、役員との連絡や連携を取りながら活動を充実させる。
		現在保有の視聴覚機材・教材等のより一層の利用促進を図る。１－①	C		
		総会・支部総会・理事会・生徒指導委員会・広報研修委員会の見直しを図る。	B		
第 1 学年	基本的な生活習慣の育成に努める。	感染拡大防止に配慮しつつ、各種行事を工夫すると同時に内容を充実させる。５－①② ６－①	B	B	・挨拶・マナーなどの基本的な生活習慣を徹底させる。 ・他人を思いやり、自ら積極的に正しい判断・行動ができる自主性を育む。 ・進路実現に向け継続的・計画的に指導していく。 ・ICTの活用。 ・新型コロナウイルスなどの感染予防対策を続けていく。
		高校生活が無事スタートできるよう、入学後オリエンテーションを実施する。２－②	B		
		生徒との個人面談を実施し、生徒理解に努めるとともに安心安全で健康的な高校生活が送れるように支援する。２－②⑥－①	A		
		感染症予防のため清掃を徹底させ、生活環境を整える。６－①	A		
	将来を考える態度を養い、早期の進路決定を促す。	登校指導やＨＲにおいて挨拶の励行や、正しい言葉遣い、きちんとした制服着用の徹底を図る。２－②	B		
		頭髪・服装指導を徹底して行い、身だしなみを整えさせる。２－① ３－①	B		
		進路ガイダンスを実施し、進路に関する意識の高揚を図る。３－①	B		
		ＨＲや個人面談を通じて自分の将来を考えさせるとともに、その実現に向けて、部活動の参加や資格取得への取り組みを促すなど学校生活の充実を図る。３－①	B		
	学習指導の充実を図る。	教科担任と連携し、授業態度や課外への出席状況など生徒の実態把握に努める。１－①	A		
		ＩＣＴ教材による基礎学力の更なる向上に努める。１－① １－②	C		
第 2 学年	規律ある生活態度を身に付けさせる。	学校生活を通じて協調性を大切にする心を育てる。２－①	B	A	・進路実現に向け、意識の高揚を図る。 ・基本的な生活習慣を確立させる。 ・スタサブを活用し、基礎学力の向上。 ・感染予防対策を続けていく。
		ＬＨＲや総合的な探究の時間（道徳）を通じて、他人を思いやる心の育成に努める。２－①	A		
		登校指導やＨＲにおいて挨拶の励行や、正しい言葉遣いの徹底を図る。２－②	A		
		集会や遅刻指導を通して、時間を守る習慣を身に付けさせる。２－②	B		
	進路実現に向けて目標を明確にさせる。	服装・頭髪をきちんとさせる。２－②	A		
		清掃を徹底し、生活環境の美化に努め、感染症予防に努める。２－② ６－①	A		
		進路ガイダンスなど進路に関する行事を通して、進路に対する意識の高揚を図る。３－②	A		
		ＨＲや個人面談等で進路目標の早期決定に向けての指導にあたる。３－②	A		
	学習指導の充実を図る。	進路希望の実現に向けて、上級資格取得の推進を図る。３－②	B		
		教科担任と連携しながら、授業を大切に、真剣に取り組む姿勢を育てる。１－①	A		
第 3 学年	規律ある生活態度を育成する。	スタディサブリを活用し、基礎学力の向上に努める。１－①	B	B	
		検定試験に向けての課外授業等に積極的に参加させ、上級資格取得を目指す。１－①	A		
		ＬＨＲや修学旅行等を通して、他人を思いやる心の育成に努める。２－①	A		
		清掃・ＨＲ等を通じて、物を大切にする心を育てる。２－①	A		
	進路指導の充実を図り、希望進路の実現を目指す。	ＨＲや集会等を通して、ＳＮＳの利用方法やマナー、交通ルール等を身につけ、豊かな心の教育に努める。２－①	A		
		服装・頭髪指導の徹底を図る。２－②	B		
		時間厳守・挨拶・正しい言葉遣いを励行する。２－②	B		
		清掃を徹底し、生活環境を整え感染症の予防に努める。６－①	A		
	学習指導の充実を図る。	ＨＲや個人面談等で進路意識の高揚を図り、希望進路の実現に向けて指導にあたる。３－② ６－②	A		
		就職や進学試験における面接や作文、適性検査への対応を図る。３－② ６－②	A		
第 3 学年	心の教育の推進を図る。	日々の授業やＩＣＴ教材（スタディサブリ）を活用し、学力の向上を図る。１－①	B	B	
		上級検定資格取得に向け、積極的に取り組ませる。１－②	A		
		特別活動を通して、自他を大切に、他人を思いやる豊かな心の教育に努める。２－① ５－①	C		
		学校生活を通して、社会人としてのマナー（ＳＮＳを含む）や交通ルールを身につけ、その重要性を理解させる。２－①	C		

教	国語	基礎学力の向上を図る。	漢字力の向上を図り、豊かな言語力を身に付けさせる。１－①	A	B	・ ICTを活用した言語活動を模索しつつ、感染症対策と主体的な学びの両立を図る。 ・ 学習活動を通して社会生活の基盤となる話す・聞く力の育成に努める。
			休校期間等の内容を補填しつつ、より豊かな言語活動に取り組み、主体的に考える力を涵養する。１－①	B		
			自宅での課題に取り組みさせることで、学習習慣の定着を図る。１－①	B		
		読書力を伸ばし、読書の習慣化を図る。	授業で扱った教材に関連する本を紹介する。１－①	B		
			指導者自身の読書体験を紹介する。１－①	B		
			図書館の利用を促す。１－①	B		
	地歴公民	生徒が理解しやすい授業への改善に努める。	授業内容、方法、進度等について教科内で研究協議する。１－①	A	B	・ 生徒の実態に即した教材の精選をおこない、わかりやすい授業をこころがける。 ・ 理解度を確認するためにノートなどの提出を実施する。 ・ 生徒が主体的に学ぶことができるように努める。
			各種研修会に積極的に参加し、教科内で発表するとともに自己研鑽に努める。１－①	A		
		興味・関心を高め、学習意欲を向上させる授業の展開。	生徒の実態に即した教材の精選を行い、諸資料を活用したわかりやすい授業を展開し、学習意欲を高める。１－①	A		
			休校等により減少した授業内容の補填に努める。６－①	B		
			時事問題や日常生活の身近な事項も教材として扱い、興味・関心を高める。１－①	B		
		自ら学ぶ意欲を高め、理解を深める授業の工夫。	自ら調べ、問題を解決する能力を高めるために、グループ学習やペア学習などを定期的に取り入れる。１－①	B		
	数学		理解度を確認するため、ノートおよび学習ノート、プリントの提出を実施する。１－①	A	B	・ 生徒の実態に応じた授業展開を心掛ける。 ・ 基礎学力向上のため小テストを実施する。 ・ グループ学習や生徒同士で教え合う機会を増やす。
		常により良い授業への改善に努める。	授業目標に沿う授業計画を毎時間たてる。休校中の授業の補填に努める。１－① 6－①	B		
			授業終了後に指導内容を点検し、気が付いた点を記録する。１－①	B		
			定期的に、実践した授業の成果を含めて見直し、報告し合う。１－①	A		
		基礎学力定着とその向上に努める。	教授法の改善を図る意味で、例題の扱い方や、取り扱う問題の精選のために、実践した授業への生徒の反応を確認し、評価し合う。１－①	A		
		「主体的・対話的で深い学び」のための指導の工夫に努める	生徒同士で意見を交換したり、教えあったりすることで問題解決する姿勢を身に付けさせる。そのための、指導法について自己研鑽に努める。１－③	B		
	理科	基礎学力の向上を図る。	普段の授業を大切にし、理解度の確認のため、ノート・ワーク等の提出を行う。１－①	A	B	・ 感染予防のため実験を動画で学ばせる機会が増えるのに備え、適切な動画の確保に努める。 ・ 生徒が発言や質問をしやすい授業をするように努める。 ・ ICTの活用方法を研究する。
			指導内容を自然現象や生活体験に関連付けして、興味や関心を深め、理解度を高める。１－①	B		
			実験・観察、演習などの教材研究をすすめ、教科内で情報交換を行う。２－①	B		
		授業の改善に努める。	感染症予防により休校となって失われた授業の補填等に努力する。6－①	B		
			教員主体ではなく、生徒主体となる授業を展開する。１－③	B		
			ＩＴ、視聴覚教材、副教材や演習を利用して生徒の興味関心を引き出し、学習意欲を喚起する。１－①	B		
	保健体育	生涯を通じて継続的に運動が出来る資質や能力を育てる。	個々の生徒の能力や実態の把握に努め、生徒一人一人に応じた指導を工夫する。また、感染症を予防し、自ら体調を整え体力を高めることが出来る主体性の育成に努める。１－① 6－①	B	B	・ 感染症の予防として換気や消毒をより徹底し、コロナ禍での授業における専門性を高め、生徒の活動量確保や主体的な授業への工夫・改善をはかる。
			ヘルスプロモーションの観点から、自ら適切な生活行動を選択・実践できるような健康への意識の向上と環境への配慮をし、改善していく努力が必要であることを理解させる。２－①	B		
		健康・安全・環境への意識の向上。	感染症予防の配慮をしつつ、健康的な生活習慣が実践できるように意識を高めていく。２－① 6－①	B		
	芸術	興味・関心を高め、学習意欲を高める授業。	興味を持つ題材の設定と教材の研究を重ねる。１－①	B	B	・ 感染防止対策を徹底し、実技活動を進められるように、授業内容及び教室内の環境を改善していく。
			感染症予防の配慮をしつつ、生徒が自ら創意工夫できる指導方法の工夫。１－③ 6－①	B		
			生徒の実態に合った目標設定内容の工夫をする。１－①	B		
	英語	生涯にわたり芸術を愛好する心情の育成。	鑑賞の時間を通し、日本、諸外国の文化を知り、芸術に関わる喜びを味わう。２－①	B	B	・ 基礎力を定着させ、全商英検の合格者を増やすように努める。 ・ ICTやグループワーク等を取り入れ、興味・関心を高める工夫をする。
		基礎学力の向上を図る。	単語テストや小テストをこまめに実施し、就職・進学に向けての基礎学力を身につけさせる。１－①	B		
			感染症予防により休校となって失われた授業の補填等に努力する。6－①	A		
			2・3学年の選択授業を通して、実践的な英語力を養成する。１－①	A		
		分かる喜びを実感する授業実践に努める。	各担当者が授業内容や方法等について研究協議し、授業に生かして行く。１－①	B		
			各種研修会に積極的に参加する。１－①	B		
科	家庭	興味・関心を高める。	感染症の予防に配慮して、ALTとのティーム・ティーチングが全クラスでできるよう計画を立て、英語への興味・関心を引き出し意欲的に取り組ませる。１－① 6－①	B	B	・ 感染防止対策を徹底させた実験・実習内容の検討。 ・ 自分の考えを発表したり、文章で表現する学習を増加させたい。
		基礎的な知識・技術の習得。	実験・実習をとおして、基礎的な知識と技術を習得させ、実践する能力を養う。３－②	B		
		生徒の実態に応じた指導。	感染症予防対策や生徒の実態に応じた個別指導の充実などにより、生徒個々の生活の向上を図る。１－① 6－①	A		
		家庭生活の充実向上を図る実践的な態度の育成。	体験活動、視聴覚教材の活用などにより、社会と家庭生活とのかわりを知り、よりよく生きるための実践的な態度の育成を図る。3－②、5－①	B		
	商業	生徒の実態に応じた指導法・教材の工夫。	生徒の実態に応じた指導法・教材の工夫。１－①	A	B	・ 感染防止対策を徹底させた授業展開や実習を心がける。 ・ 上級資格取得に向けた課外を、適宜実施する。 ・ 出前授業を継続し、本校や商業の魅力を伝える。
		授業内容の充実。	科目担当者間での進度調整や授業内容等の情報交換。１－①	B		
			授業を受ける際の基本的姿勢と心構えの確立と徹底。１－①	B		
			休校等により減少した授業内容の補填に努める。６－①	B		
			基礎・基本を徹底して習得させる指導法の工夫。１－①	A		
		基礎科目の知識定着および検定試験合格者の向上。	生徒の実態に応じた課外等の実施。１－②	A		
			年間を通しての計画的な課外等の実施。１－②	A		
		上級資格取得の奨励。	習熟度に応じた指導法の工夫及び課外等の実施。１－②	B		
		出前授業の効果的実施。	近隣中学校を対象とした出前授業の効果的実施。５－①、②	A		

※評価基準： A 十分達成できている B 達成できている C 概ね達成できている D 不十分である E できていない

m,